

萩圏域 地域包括ケアネットワーク協議会 令和 6 年度 事業報告

会長 山本 達人

「萩圏域 地域包括ケアネットワーク協議会（以下、協議会）」は、萩市医師会が受託した在宅医療提供体制充実支援事業と、萩市・阿武町が全面実施する在宅医療・介護連携推進事業の背景や目的が重なり合っていたことから、合理的で効率的、効果的な取組を推進するため、平成 30 年 12 月に萩市医師会・萩市・阿武町の 3 者で設置しました。

医療・介護の連携推進によって、萩圏域の地域包括ケアシステムを構築しようとした協議会は、障がい福祉関係者にも広く参画していただいたことによって、同システムを深化・推進し、地域共生社会の実現を目指すこととしました。

令和 6 年 4 月に第 9 期介護保険事業（支援）計画と同時にスタートした第 8 次山口県保健医療計画においては「在宅医療」の項で、協議会が「在宅医療に必要な連携を担う拠点（以下、連携拠点）」として記載されています。他圏域は市、町、医師会がそれぞれ連携拠点として取組を進める中、萩圏域においては在宅医療に必要な連携を担う構成員が全て協議会に参画しているため、協議会を連携拠点と位置付けたのが特徴です。

2025（令和 7）年に向けて、病床の機能分化・連携を進めてきた地域医療構想は、85 歳以上の増加や人口減少がさらに進む 2040（令和 22）年とその先を見据えて、新たな構想を医療計画の上位概念として位置付けることになりました。外来・在宅、介護連携等も構想の対象とし、地域完結型の医療・介護提供体制を構築するのが目標です。協議会もさらなる役割が期待されることになると思われます。今後ともお互いに切磋琢磨し、協議会活動を発展させていく所存ですので、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。



萩圏域 地域包括ケアネットワーク協議会 （愛称:ケアネットはぎ）

～誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることのできる萩圏域を目指して～

萩市医師会と萩市、阿武町は 3 者合同で「萩圏域 地域包括ケアネットワーク協議会」を平成 30 年 12 月に設置。圏域の医療・介護・福祉・行政関係者等の参画を得て、地域を支える基盤となる「人と人とのつながり」を大切に、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることのできる萩圏域を目指して活動を行っています。

I. 情報提供

- R06.05.17 「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイドブック 2022」情報更新のお知らせ
- R06.06.10 山口県萩健康福祉センターから「萩地域の施設における感染対策を目的とした施設訪問研修会等のお知らせ」
- R06.07.16 都志見病院・萩市民病院・山口県萩環境保健所主催（本協議会が共催）「多職種連携感染症対策研修会」（8月10日開催）のお知らせ
- R06.08.20 令和6年度萩圏域認知症疾患医療センター研修会「認知症の人・家族支援で私たちにできる事～地域共生・予防の視点から～」（10月31日開催）のお知らせ
- R06.08.21 「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイドブック 2022」情報更新（診療報酬改定に伴う薬局機能情報の全面更新など）のお知らせ
- R06.08.28 「萩圏域 地域包括ケアネットワーク協議会 令和5年度事業報告」を萩市ホームページへ掲載のお知らせ
- R06.09.03 山口県栄養士会主催「2024年度嚥下調整食実践セミナー」（東部会場は岩国市で9月29日に、中部会場は山口市で10月6日に、北部会場は萩市で12月1日に開催）のお知らせ
- R06.10.03 萩市ホームページにサブサイト「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイド」新設のお知らせ

<https://www.city.hagi.lg.jp/site/keanetto/h34439.html>

**萩市**
Hagi City Website

文字の大きさ 背景色を変える

Google 検索

☒ はじめての方へ ☐ Foreign language ☐ サイトマップ ☐ お問い合わせ

ホーム	市民便利帳	観光情報	事業者向けの情報	市政情報
-----	-------	------	----------	------

現在地 [ホーム](#) > [萩圏域 地域包括ケアネットワーク協議会](#) > [萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイド](#)

萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイド



医療資源

- ▶ [医療機関（内科・病院）](#)
- ▶ [医療機関（内科・診療所）](#)
- ▶ [医療機関（歯科）](#)
- ▶ [医療機関（薬局）](#)

介護資源

- ▶ [地域包括支援センター](#)
- ▶ [権利擁護支援センター](#)
- ▶ [在宅介護支援センター](#)
- ▶ [居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）](#)
- ▶ [訪問介護（ホームヘルプサービス）](#)
- ▶ [定期巡回・随時対応型訪問介護看護](#)
- ▶ [訪問入浴介護](#)
- ▶ [訪問リハビリテーション](#)

萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイド



掲載日：2024年12月9日更新

メニューをクリックすると、萩圏域の医療機関や事業所などの情報や場所が検索ができます♪

[検索方法の説明はこちら【PDFファイル/548KB】](#)

 [「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイドブック2022」のページはこちら](#)

このページに関するお問い合わせ先

高齢者支援課
医療介護連携推進室
Tel：0838-25-3363
Fax：0838-25-3501

- R06.10.08 令和 6 年度萩圏域認知症疾患医療センター研修会「認知症の人・家族支援で私たちにできる事～地域共生・予防の視点から～」(10 月 31 日開催)のお知らせ(再送)
- R06.11.10 新聞折り込みチラシで(圏域住民に向けて)萩市・阿武町住民公開講座「みんなで考える在宅医療・介護」(11 月 30 日開催)のお知らせ
- R06.11.21 各市町在宅医療・介護担当者に向けて萩市・阿武町住民公開講座「みんなで考える在宅医療・介護」(11 月 30 日開催)のお知らせ
- R06.11.21 圏域関係者に向けて萩市・阿武町住民公開講座「みんなで考える在宅医療・介護」(11 月 30 日開催)のお知らせ
- R06.12.09 萩市ホームページにサブサイト「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイド」を開設したことを記者発表及び萩市議会議員へお知らせ
- R06.12.10 「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイドブック 2022」情報更新のお知らせ
- R06.12.17 山口県・国立病院機構山口宇部医療センター主催「令和 6 年度 結核臨床研修会(令和 7 年 2 月 2 日開催)のお知らせ
- R06.12.23 山口県・各認知症疾患医療センター主催の令和 6 年度認知症疾患医療センター合同研修会「認知症の人たちと共に歩むこと」(令和 7 年 2 月 9 日 WEB 開催)のお知らせ
- R07.02.05 山口大学医学部器官病態内科学講座主催(萩市・阿武町・萩市医師会が共催)「高齢者健診における心房細動早期発見啓発セミナー」(3 月 7 日開催)のお知らせ
- R07.03.31 「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイドブック 2022」情報更新のお知らせ

【情報提供件数】

項 目	ガイドブック ・ガイド更新	研 修	啓 発	そ の 他
件 数	6	8	3	1
合 計	18			

Ⅱ. 会 議 関 係

- R06.04.16 **事務局会議** 萩市と阿武町の事務局で協議。内容は、在宅医療に必要な連携を担う拠点と協議会の取組について、研修・啓発部会の今後の取組について、市町村の包括的支援事業に関連する取組についてなど
- R06.05.30 **研修・啓発部会** 内容は、2 月 28 日(水)に開催した同部会での協議をもとに事務局が整理した取組案 3 つのうち、「寸劇による住民啓発」を今年度の取

組とすることに決定。残りの2つのうち、「食形態マップに係る共通認識とツールの横展開」については連携部会に取組を依頼、「研修会を開催できる講師人材を発掘」については事務局を中心に仕組みづくり等を検討することに

- R06.06.05 **山口県萩健康福祉センター（萩健福）と事務局が協議** 内容は、①「萩地域の施設における感染対策を目的とした施設訪問研修会等のお知らせ」の周知について、②「令和6年度感染症対策研修会」の協議会との共同開催について、③研修・啓発部会で懸案となっている「食形態マップ」を活用した連携の推進について（萩健福として積極的に関与する意向）、④懸案となっている「講師人材の発掘」について（萩健福として積極的に協力する意向）など
- R06.08.01 **萩健福と事務局が協議** 内容は、多職種連携感染症対策研修会の開催について。研修会のうち、第1部（前半）が山口県立大学施設等感染症対策強化事業として開催。第2部（後半）が感染対策向上加算・外来感染対策向上加算の算定に伴う令和6年度第1回萩地域感染対策連携カンファレンスとして開催されるため、加算1を算定している都志見病院の医事課長らや、萩市民病院の感染管理認定看護師も協議に参加
- R06.08.26 **事務局協議** 内容は、令和5年度事業報告・設置要綱の確認について、協議会の組織体制について、令和6年度の事業計画についてなど
- R06.09.06 **事務局会議** 会長が出席（都志見病院医事課長も）。内容は、協議会の組織体制について、令和6年度の事業計画と各部会の取組についてなど
- R06.09.26 **研修・啓発部会《萩市・阿武町住民公開講座打ち合わせ》** 内容は、寸劇のストーリーの紹介について、出演者等の配役・役割分担について、必要物品、作成が必要なものについて、今後のスケジュールについてなど
- R06.09.30 **事務局会議** 内容は「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイド」について、実態調査及び活動（評価）に関するアンケート調査の実施について、令和6年度の事業計画について、市民公開講座についてなど
- R06.10.15 **研修・啓発部会《萩市・阿武町住民公開講座打ち合わせ》** 内容は、全体の取組日程・開催当日の日程の確認、周知方法の検討、役割分担の確認、脚本の読み合わせなど
- R06.10.28 **事務局会議** 内容は、11月30日（土）開催予定の萩市・阿武町住民公開講座に向けての打ち合わせと、当日の会場において照明器具等舞台装置の確認作業など
- R06.10.29 **3者会議** 内容は、協議会の運営について、「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイド」について、多職種連携の実態及び活動（評価）に関するアンケート調査について、萩市・阿武町住民公開講座の開催（11月30日）についてなど
- R06.11.05 **事務局会議** 内容は、11月30日（土）開催予定の萩市・阿武町住民公開講座に向けての会場及び照明等舞台装置の設置の確認など

- R06.11.11 **研修・啓発部会《萩市・阿武町住民公開講座打ち合わせ》** 内容は、寸劇の練習とお仕事紹介の進行の確認など
- R06.11.19 **研修・啓発部会《萩市・阿武町住民公開講座打ち合わせ》** 内容は、寸劇の練習など
- R06.11.21 **研修・啓発部会《萩市・阿武町住民公開講座打ち合わせ》** 内容は、寸劇の練習とお仕事紹介の練習及び全体の進行確認など
- R07.01.14 **事務局会議** 内容は、連携部会の開催について、11月30日（土）に開催した萩市・阿武町住民公開講座の打上げ（懇親会）について、協議会の開催について、情報提供など
- R07.02.21 **連携部会** 内容は「多職種連携の実態及び活動（評価）に関するアンケート調査」の実施について、「北浦地域食形態マップ」に関する情報提供・意見交換について、食支援に関する情報提供について、サブサイト「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイド」の開設について、第11回成育在宅医療WEB研修会の案内についてなど



令和7年2月21日に開催した連携部会。席上で山口県栄養士会北浦地域事業推進委員会が作成した「北浦地域食形態マップ」を紹介。同マップはすでに施設間で活用されており、在宅療養を含めた地域への展開が期待される。



【会議開催回数】

項目3	3者会議	事務局会議	部会	その他
開催回数	1	7	7	2
合計	17			

Ⅲ. 研 修・啓 発

多職種連携感染症対策研修会

■開催日時	令和6年8月10日（土）15：00～17：20
■開催概要	第1部（前半）が山口県立大学施設等感染症対策強化事業として、第2部（後半）が感染対策向上加算・外来感染対策向上加算の算定に伴う令和6年度第1回萩地域感染対策連携カンファレンスとして開催
■主 催	都志見病院・萩市民病院・山口県萩環境保健所
■共 催	萩圏域 地域包括ケアネットワーク協議会（萩市医師会・萩市・阿武町）
■場 所	萩市総合福祉センター1階 多目的ホール
■内 容	
15：00～	開会挨拶 萩市医師会長・都志見病院長 山本 達人
15：05～	行政説明「近年の萩圏域の結核の動向」 萩環境保健所
15：15～	講演1「結核の基本的知識と対策 ～ N95 マスクフィットテスト」 国立病院機構山口宇部医療センター 感染管理認定看護師 古田 貴子
16：15～	行政説明「新型コロナウイルス等の感染症対応」 萩環境保健所
16：25～	講演2「新型コロナウイルス等の感染症の現状と対策」 萩市民病院 感染管理認定看護師 大谷 剛
16：45～	行政説明「新型インフルエンザ等政府行動計画」 萩環境保健所
17：15～	開会挨拶 萩市医師会長・都志見病院長 山本 達人

◇会場参加 74 名、オンライン参加 10 名の計 84 名。それに幹事 13 名を加えて、総勢 97 名が参加し、盛況であった。

◇研修会開催後のアンケートには、幹事 13 名を除く 84 名の参加者のうち、68 名が回答（81.0%）。内訳は看護師 20 名、福祉 13 名、事務 7 名、医師 5 名、薬剤師 4 名、消防 2 名、保健師 1 名、理学療法士 1 名、その他（職種の記載なし）15 名の計 68 名。

◇研修会参加の理由としては「感染症の理解を深めるため」や「内容に興味があった」の回答が多く、感染症に対する知識習得の意欲が感じられた。

◇アンケートの各項目を「0」ができなかった、「10」ができたの各段階で評価してもらっ

た。「7～10」を高評価とした場合、高評価の割合は「結核の基本的知識と対策の理解」が76.5%、「結核講義の今後の活用」が69.1%、「新型コロナウイルス等の感染症の現状と対策の理解」が76.5%、「新型コロナウイルス等の今後の活用」が71.6%と概ね好評であった。

◇講師が紹介した医療現場での事例やエピソードが大変興味深かったとの感想がある一方で、医療の専門用語が理解できないので、分かりやすく話してほしいとの声も。今後の参考としたい。

萩市・阿武町住民公開講座「みんなで考える在宅医療・介護」

■開催日時 令和6年11月30日(土) 14:00～16:45

■主催 萩圏域 地域包括ケアネットワーク協議会

■共催 萩市医師会・萩市・阿武町

■場所 萩市総合福祉センター1階 多目的ホール

■内容

【イベントコーナー】14:00～16:45

福祉用具のプロによる展示・相談コーナー

【プログラム】15:00～16:30

◆劇団ケアネットはぎ初回公演

「たかあきじいちゃん
やっぱり家がええのお」

皆さんに身近な萩市・阿武町の
医療・介護・福祉専門職による
渾身の演技をお楽しみに！

◆在宅療養で行う医療・介護
のお仕事紹介！

歯科医師/ケアマネジャー/
作業療法士/ホームヘルパー/
訪問看護師/薬剤師/管理栄養士/
医療ソーシャルワーカー/
社会福祉士

◆会場まるごとディスカッション
専門職の人に聞いてみたい！あんなこと、こんなこと！
会場みなさんで在宅医療・介護について話し合いましょう！

◆劇団ケアネットはぎの初回公演の内容は「ずいぶん前から心臓病を患っているおじいさん。入院して療養するのか、在宅でも療養するのか、様々な医療・介護等の専門職と関わり、おばあさんとも相談しながら、望む場所での暮らしを模索する」というもの。

◆当日は寸劇に加えて、出演していた様々な専門職の仕事を皆さんに知っていただくために「在宅療養で行う医療・介護のお仕事紹介！」を企画、さらに参加者全員で本日の内容について意見・感想等を交換しあう「会場まるごとディスカッション」を実施。

◆この住民公開講座の内容は、山口県健康福祉部医療政策課の協力を得て撮影を行い、協議会で動画を制作、住民啓発に活用する予定。

劇団ケアネットはぎ 初回公演
「たかあきおじいちゃん **やっぱり家がええのぉ**」



☆☆ あらすじ ☆☆☆

ずいぶん前から心臓病を患っているおじいさん。
入院して療養するのか、在宅でも療養できるのか、様々な医療・介護等の専門職と関わり、おばあさんとも相談しながら、望む場所での暮らしを模索します。
皆さんと「在宅医療・介護」について理解を深められたら幸いです。

出演者 ●山口たかあき (85歳) 内藤 隆昭 (ないとう 歯科医院 歯科医師)
(出演順) たかあきは妻と二人暮らし。長い間患っていた心臓の病気が悪化し在宅療養療法が必要になった。家で過ごしたいと思っているが、妻の負担になることを心配している。

●山口ゆうこ (82歳) 遊本 裕子 (ケアパートナー いろは ケアマネジャー)
たかあきの妻。腰に持病がある。夫の思いを大切にしたいと思っている。

●前川医師 前川 恭子 (萩市むつみ診療所 医師)
診療所の医師。長年たかあきのかかりつけ医で、在宅医療にも力を入れている。

●病棟の看護師 平畑 八重子 (阿武町総合相談センター 保健師)
●病棟の医療ソーシャルワーカー 池永 満弘 (都志見病院 社会福祉士)
●介護支援専門員 (ケアマネジャー) 秋山 貴美世 (すき苑居宅介護支援事業所 ケアマネジャー)
●訪問看護師 尾村 幸江 (かねた訪問看護ステーション 看護師)
●ナレーション 西藤 真純 (萩健康福祉センター 保健師)

スタッフ ○原作・総監督 松元 満智子 (ケアネットはぎ研修・啓発部長/都志見病院)
○脚本 林田 佑里香
○医療監修 綿貫 篤志 (ケアネットはぎ副会長/わたぬきクリニック)
○演劇アシスタント 中村 ゆみ・中村 浩司
○音響 神崎 卓也 (萩市医師会)
○照明 宮下 洋一 (萩健康福祉センター)
○大道具 赤木 正雄 (萩地域リハビリテーション研究会)
大谷 こずえ (萩市地域包括支援センター)

お仕事紹介
○歯科医師 内藤 隆昭 (萩市歯科医師会)
○ケアマネジャー 中山 京子 (萩広域介護支援専門員連絡協議会)
○作業療法士 赤木 正雄 (萩地域リハビリテーション研究会)
出演者
(出演順) ○ホームヘルパー 柳井 智恵 (萩協同訪問介護事業所)
○訪問看護師 兼田 リツ子 (かねた訪問看護ステーション)
○薬剤師 鈴木 基泰 (萩薬剤師会)
○管理栄養士 上領 直子 (萩・福祉複合施設かがやき 山口県栄養士会)
○医療ソーシャルワーカー 池永 満弘 (都志見病院)
○社会福祉士 大谷 こずえ (萩市地域包括支援センター)

《 協 力 》
福祉用具展示・相談 (五十音順) ○あおば
○有限会社 ひまわり
○株式会社ホームケアサービス山口 萩店

◇当日の参加者数は来場者 152 名と関係者をあわせて約 200 名。開催後のアンケート結果の主なものは以下のとおり。

◇当日の来場者のうち、年代別に 40 歳代が 48.3%、50 歳代が 19.1%、60 歳代が 23.7%、70 歳代が 17.6%、80 歳代が 10.7%という参加状況で、30 歳代までが 10.6%であった。

◇来場者の住所は、萩地域が 70.2%、阿武町が 14.5%であわせて 84.7%を占め、川上・田万川・むつみ・須佐・旭・福栄地域と山口市、長門市、柳井市からもご参加いただいた。

◇来場者の職業は、医療・介護・福祉関係が 32.8%、無職が 29.8%、公務員が 16.8%、会社員が 8.4%であわせて 87.8%、それ以外に自営業、学生などにご参加いただいた。

◇本日の講座を知ったのは(複数回答可)、チラシが 37.4%、医療・介護関係者等からが 23.7%、市町村職員・地域包括支援センターからが 22.1%、知人から 19.8%、防災メールが 12.2%、市報・広報が 10.7%など。

◇本日の講座に参加したきっかけは(複数回答可)、「在宅医療や介護に関心がある」が 41.2%、「ご自身や家族の将来の参考に」が 40.5%、「知っている方が出演している」が 31.3%、「ご自身や家族が自宅療養している」が 18.3%など。

◇「劇団ケアネットはぎ初回公演」の内容に「満足＋やや満足」が 96.1%、「在宅医療・介護のお仕事紹介」が同じく 92.3%、「会場まるごとディスカッション」が同じく 77.9%

と概ね高評価であった。

◇「あなた自身がこれから医療や介護が必要になったとき、どこで暮らしたいか」という問いに対しては、「自宅」が 61.1%、「介護施設」が 19.1%で、あわせて 80.2%を占めた。

萩市・阿武町住民公開講座に対する主なご意見・ご感想

- ・一人じゃ解決できないこともチームで仲間となつて考えられると本当にいいなと思います。このような機会があつて、ありがたい環境だと思います。
- ・とても良かったです。勉強になりました。母を介護しているので、聞けてありがたかったです。
- ・迫真の演技がすばらしかったです！！
- ・分かりやすい講座ありがとうございました。各職種の仕事を知る機会となりました。職種同士もつながりあえるととてもすてきな協議会だと感じました。
- ・普段かわりがない職業の方の話が聞けて良かった。自分の家族（親）が遠方で自宅療養しているのでケアマネさんの話を聞いて、自分が出来る援助があるのか考えたいです。
- ・内藤先生が親しみやすく、医療へのハードルが下がりました。劇の内容もよくあるリアルな題材で、在宅で生活できる未来が見えそうです。お仕事紹介で在宅の様子が聞けて良かったです。病院にいと在宅の生活が見えていないと感じました。
- ・いろいろの職種の方がおられて心強いです。でも、将来的に人数が不足するのではないかと心配です。現状はどうか知りたかったです。
- ・日頃は支援側で仕事をしていますが、介護保険について在宅サービスなど、分かりやすく劇団の方や専門職の方からの説明があり、生活に密着した身近なものになったと思います。今後も沢山の住民の方に繰り返し伺う機会があるといいと思います。
- ・今日は劇を踏まえての流れでとてもよく分かる内容でした。実際には、このような内容（制度）について知らない人が多いと思いますので、今後も2回・3回と啓発活動が続けていただけると嬉しいです。
- ・父に在宅介護が必要になった時、町のケアマネ、福祉施設の方に力になっていただいたことを思い出しました。父の希望に沿ってサービスなどの相談にのっていただきました。地域で自分らしく暮らすために本当に必要な皆さんです。感謝しています。
- ・困ったときに、どこにどのように相談したらよいかがとても分かりやすかったです。介護など急に対応が必要になることもあるため、基礎知識として知っていると安心できると感じました。
- ・とても分かりやすく楽しい講座でした。ご準備されたみなさん大変お疲れ様でした。みんなが一つの思いで同じ方向で取り組むすばらしさを実感しました。



Ⅳ. 課題の抽出と対応策の検討

協議会として対応策を検討すべき事項のうち、懸案事項として令和6年度に持ち越していた課題は以下のとおり。

《令和6年度に持ち越した課題》

① 圏域の自主規制ルールの標準化に向けた取組を含め新興感染症等への対応の強化

② 関係機関との情報共有・情報連携の仕組みづくりの推進

③ 在宅医療に必要な連携を担う拠点としての活動の見える化

今年度に持ち越した課題のうち、①については、5 類感染症に移行した新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなど様々な感染症が流行する中、令和6年度にスタートした第8次医療計画では、5 疾病 5 事業に「新興感染症発生・まん延時における医療」が追加され、5 疾病 6 事業に再編成された。協議会としては、圏域関係者に必要な研修等を実施するとともに、感染状況を注視し、必要に応じて検討を再開することとしている。

②については、国において医療 DX 等が進展する中、地域においても多職種連携を推進す

る前提として、情報共有・情報連携の仕組みづくりなど ICT、DX の活用が重要と考えられる。地域医療情報連携ネットワークのような大規模な取組ではなく、サービス提供に際して小回りが利き、タイムリーな情報共有・情報連携ができる自前の仕組みが求められている。

具体的な取組の 1 つとしては、「I. 情報提供」の項でお知らせしているサブサイト「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイド」新設（R06.10.03 付）がある。圏域関係者から高い評価を得ていた冊子「萩圏域 医療・介護資源ガイドブック 2020」と、その改訂版である「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイドブック 2022」の内容を、萩市ホームページ上でコンテンツとして構築し、適宜の情報更新や検索のしやすさなど利便性を各段に高めたサブサイトとして整備している。

また、それ以外として、在宅療養の現場でコミュニケーションツールを活用して情報連携を円滑にしようという自主的な取組の機運が高まっているので、地域の模範となる取組として展開されることを切に期待している。

③については、今年度に第 8 次医療計画の取組として位置付けられたので、山口県と連携しながら、あるいは圏域内の在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、在宅療養後方支援病院、訪問看護ステーションなど「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」と協働しながら、協議会が「在宅医療に必要な連携を担う拠点」として、中長期的視野で具体的な活動を顕在化していくこととしたい。

《 当 面 の 課 題 》

① 圏域の自主規制ルールの標準化に向けた取組を含め新興感染症等への対応の強化

② 関係機関との情報共有・情報連携の仕組みづくりの推進

③ 在宅医療に必要な連携を担う拠点としての活動の見える化

②では、サブサイト「萩圏域 医療・介護・福祉資源ガイド」を新設するといった具体的な取組が実現できたが、令和 7 年度においても上記 3 つについて取組を継続していくこととしたい。